

学習計画の工夫

実態やねらいに応じた学習計画を立てる

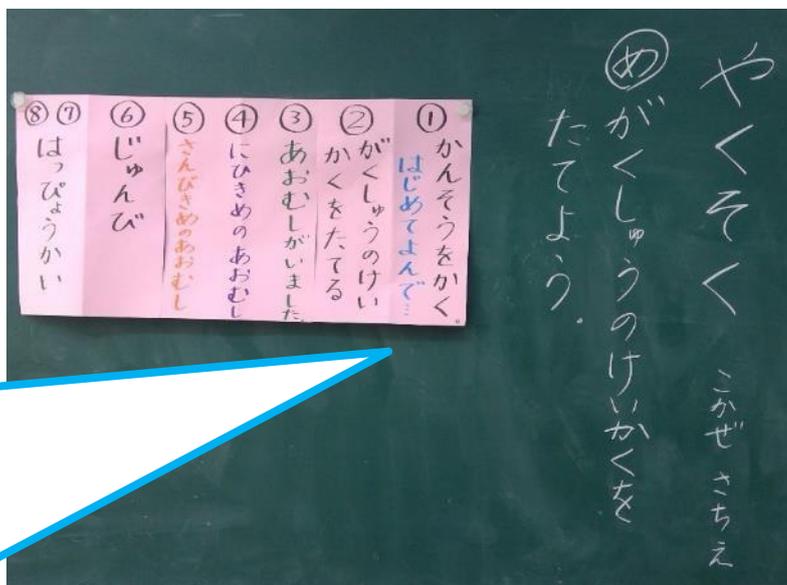
1年生 国語科「おおきなかぶ」「やくそく」（文学的文章）

「おおきなかぶ」の学習では、

- ① はじめの感想
- ② 学習計画
- ③④⑤読み取り
- ⑥まとめと準備
- ⑦⑧言語活動の発表
(おわりの感想)

と学習計画を立てたことを

「やくそく」の際に生かした。

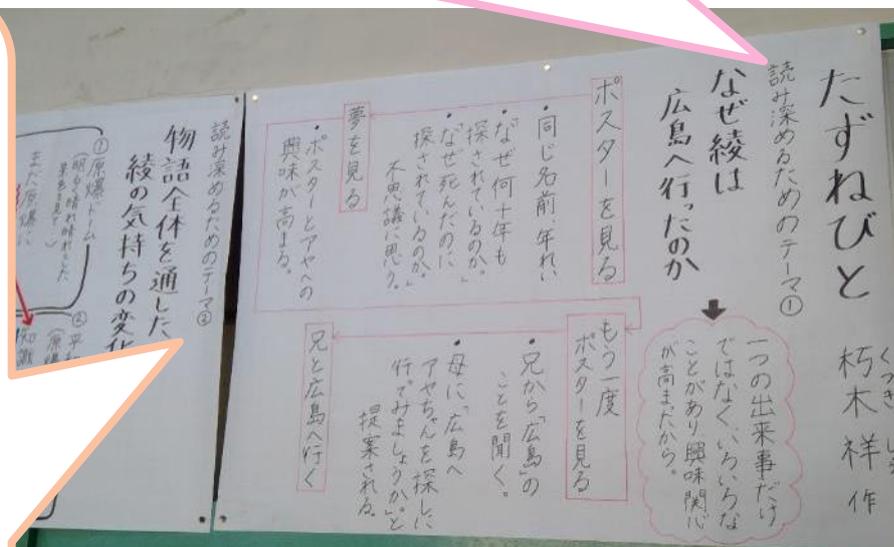


5年生 国語科「たずねびと」（文学的文章）

「たずねびと」の学習では、初発の感想を交流し、心に残ったことや疑問に思ったことについて、自分の考えを伝え合うための学習計画を立てた。

「たずねびと」の学習計画

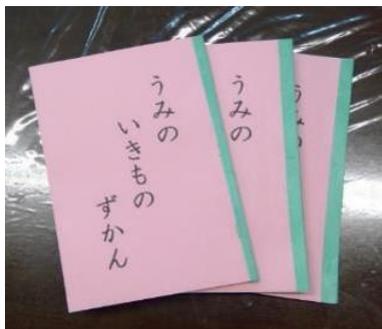
- ① 初発の感想
- ② 感想交流と学習計画
- ③ 内容の大体を捉える
- ④ ⑤⑥読み深めるための
テーマごとに読みを深める
- ⑦ 主題について自分の考えをまとめる
- ⑧ 振り返り



※ 教師による1単位時間のまとめ（教室掲示）

単元を通して言語活動を設定してから読み深める

1年生 国語科「やくそく」（文学的文章）



1年生国語科では、読みの学習の際に単元を通して言語活動を設定してから読み深めていった。

「うみのかくれんぼ」では「海の生き物図鑑」

「やくそく」では「青虫のペープサート劇」

海の生き物図鑑という言語活動を設定したことで、教材文の書きぶりに着目しながら読み進めることができた。

ペープサートの青虫たちを動かすために、登場する順番や誰の台詞なのかに着目して読み深めることができた。



2年生 国語科

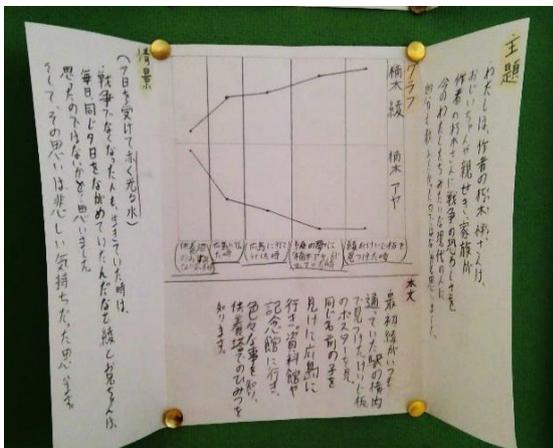
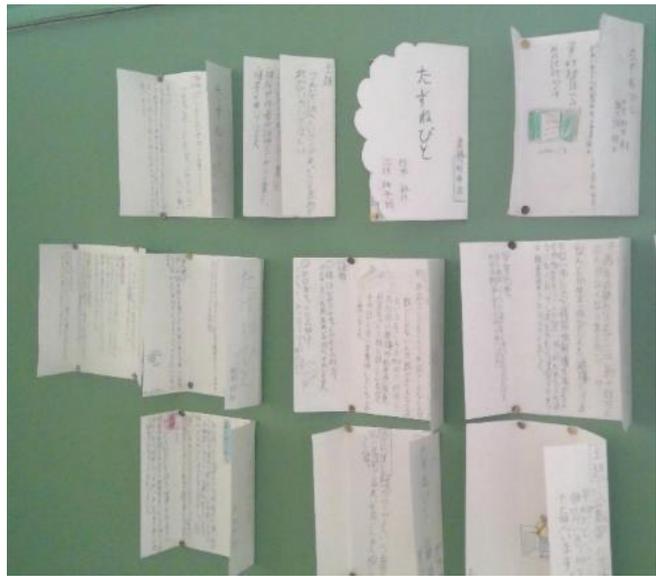
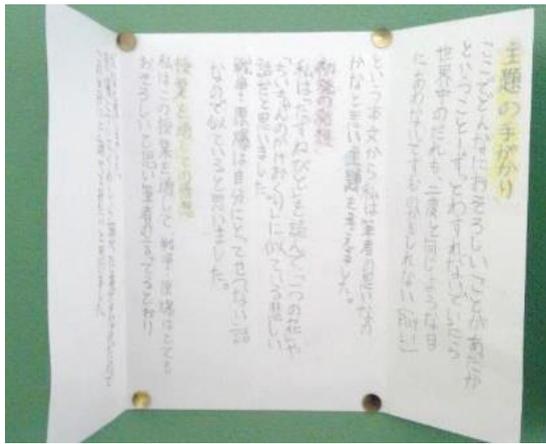
「たんぽぽのちえ」（説明的文章） 「スイミー」（文学的文章）



「たんぽぽのちえ」では、単元末に、たんぽぽのちえカードに書いてまとめさせた。カードには、知恵・理由（わけ）・思ったことの3項目で読み取ったことを書いてまとめさせ、読みを深められるようにした。

「スイミー」ではスイミー新聞という言語活動を単元末に設定した。登場人物の気持ちを想像して読むことで、読み方の工夫につながり、読みを深めることができた。

5年生 国語科「たずねびと」(文学的文章)



5年生「たずねびと」では、読みを進めていく中で、どのような言語活動にしていくか話し合いながら形式や内容を決めていった。

主題につながる根拠となる叙述を伝えるために、リーフレットが適していると考えた。

ゴールに行き着くためにどうすべきか(何を学習すべきか)が明確になる課題を設定する

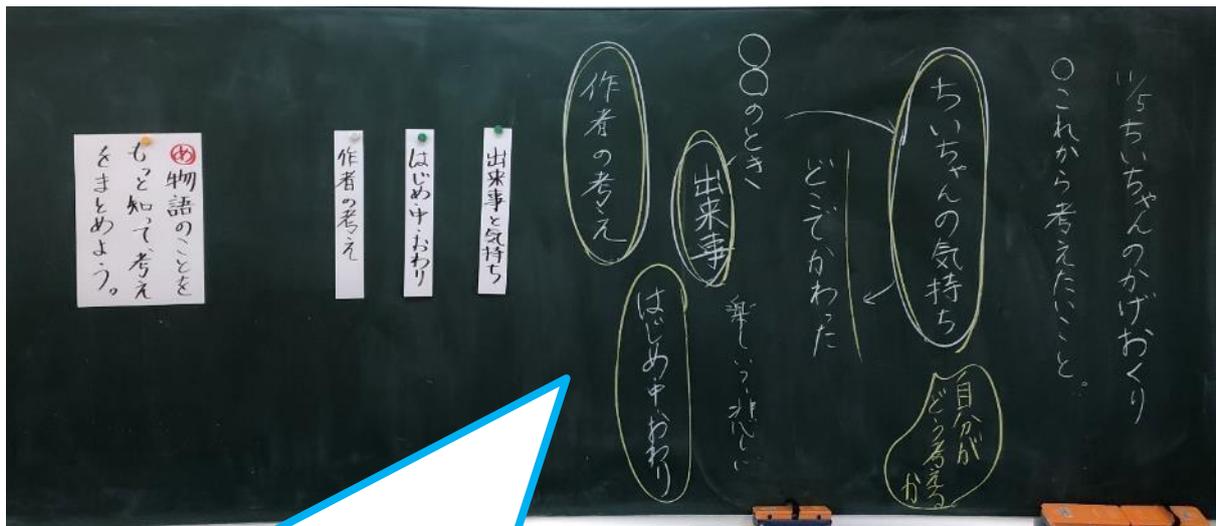
1年生 国語科 「うみのかくれんぼ」(説明的文章)



説明的文章「うみのかくれんぼ」では、クラスで海の生き物図鑑を作ろうと言語活動を設定し、自分でも説明文を書くことを確認してから学習した。

海の生き物図鑑を作るために、説明の仕方を学ぶため、教材文の書きぶりに注目して読み取りをすることができた。

3年生 国語科 「ちいちゃんのかげおくり」 (文学的文章)



3年生の国語科「ちいちゃんのかげおくり」では、互いの感想の共通点や相違点を知り、物語について詳しく知ることを目的として学習課題を設定した。

考えたいことや、友達の考えで知りたいことを学習課題として挙げ、話し合いながら学習計画を立てた。